

みんなで学ぼう!学校司書講座 2020 オンライン研修

主催 東京学芸大学学校図書館運営専門委員会司書部会
東京学芸大学附属図書館附属図書館

受講者募集定員 80名(応募者多数の場合は拡大も検討中)

日時 2020年8月1日(土) 13:30~16:30

講師 (株)カーリル代表 吉本 龍司 氏

総合司会 東京学芸大学附属図書館 高橋菜奈子

聞き手 東京学芸大学附属世田谷中学校司書 村上恭子

内容

「学校図書館の検索のイマ!」

(1)カーリル学校図書館支援プログラムの紹介

(2)連携によってできること

<休憩>

(3)検索需要の危機

(4)学校図書館に最適な検索とは

(5)総括:検索のイマから明日へ

参加費 無料

募集期間 2020年7月16日~2020年7月31日



申込方法 「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」

トップ画面、または下記アドレスより申し込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/24e21ab6672263>

【附属学校司書部会より】

この春、(株)カーリルより「COVID-19：学校向け蔵書検索サービス」が無償提供されました。約180の学校から依頼があったと伺っていますが、自校の蔵書のデータ化自体が難しかった学校もあるかもしれません。しかし、吉本さんは、蔵書のISBNを読み取ってエクセルファイルにすれば、蔵書検索サイトをつくることは難しくないと言います。同じ自治体の学校であれば、相互貸借のための検索サイトを立ち上げることもできます。

日本全国の小学校・中学校・高校図書館の共通蔵書目録ができれば、選書や廃棄にも役立ちそうです。また、私たちは何気なく検索して、出てくるデータを当たり前のように見っていますが、その並び順はどのような要素がかかわっているのか、検索の裏側を知ると、目からウロコだったりします。

そして、実は最近検索すらしない若者が増えているという、司書には驚くべき事態が進んでいるらしいのです。そんなこんなの、面白い検索のイマを、この道の専門家、吉本さんに伺いながら、学校図書館のアスを考える研修会です。多くの皆様の参加をお待ちしています。